

千葉県青少年総合プラン平成24年度事業 評価シート

計画番号 87

事業名	防犯意識を高める広報啓発事業		
担当課・室・班名	生活・交通安全課 生活安全室	問合せ先(電話番号)	2333

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域社会づくり				
基本目標	6 社会環境の見直しと整備				
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応				
事業内容	警察、市町村と連携を図り、特定の罪種、あるいは特定の被害者層に的を絞った、実効性のある効果的な広報啓発活動を強力に実施する。また、社会問題化している万引きの対策として、県、県警、事業者等が連携しながら、万引きを発生させないための広報・啓発事業を実施する。さらに、安全安心まちづくり旬間における防犯パトロール隊出動式等の実施により広く県民の防犯意識の高揚を図る。				
当初予算額(千円)	24年度	4,158	25年度	4,052	26年度
決算額(千円)	24年度	1,555	25年度		26年度
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)
	○		○		

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果

「安全で安心なまちづくり旬間(10/11～10/20)」啓発ポスター 4,000枚、防犯ブザー 3,000個、いかのおすしステーションナリーセット 7,000個 作成

(2)事業の成果

「安全で安心なまちづくり旬間」の啓発及び子ども用の啓発グッズ配布による啓発活動に継続的に取り組んだ。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

啓発が主体であり、その成果を把握することが困難である。継続して取り組んでいく予定である。

4 委員意見

千葉県青少年総合プラン平成24年度事業 評価シート

計画番号 88

事業名	自主防犯団体トップリーダー養成事業		
担当課・室・班名	生活・交通安全課 生活安全室	問合せ先(電話番号)	2333

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	地域の犯罪抑止に大きな役割を担うようになってきた県民の自主防犯団体の活動を継続し、より発展させていくため、自主防犯活動の核となる団体を育成する。					
当初予算額(千円)	24年度	1,903	25年度	1,530	26年度	
決算額(千円)	24年度	1,417	25年度		26年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○			

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

<p>トップリーダー養成講座 3回、防犯ボランティア交流大会 1回、トップリーダー情報誌 2回発行</p>
---

(2) 事業の成果

<p>地域の防犯活動を行っている防犯ボランティアの支援を行った。</p>
--------------------------------------

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

<p>防犯ボランティアの高齢化。継続して実施していく予定である。</p>
--------------------------------------

4 委員意見

<p> </p>
----------

千葉県青少年総合プラン平成24年度事業 評価シート

計画番号 89

事業名	地域の防犯力アップ補助事業		
担当課・室・班名	生活・交通安全課 生活安全室	問合せ先(電話番号)	2333

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	地域の防犯力アップに大きな役割を担っている県民の自主防犯活動を促進し、その発展・強化を図る。					
当初予算額(千円)	24年度	1,175	25年度	1,175	26年度	
決算額(千円)	24年度	1,091	25年度		26年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

13市町に対して、地域の防犯力アップ事業補助金を交付

(2) 事業の成果

地域の防犯活動を行っている防犯ボランティアの支援を行った。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

防犯ボランティアの高齢化。継続して実施していく予定である。

4 委員意見

千葉県青少年総合プラン平成24年度事業 評価シート

計画番号 90

事業名	安全で安心なコミュニティ推進事業		
担当課・室・班名	生活・交通安全課 生活安全室	問合せ先(電話番号)	2333

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	「犯罪の防止に配慮した道路、公園、駐車場及び駐輪場の構造及び設備に関する指針」に基づき、犯罪の起こりにくいまちづくりを進めるため、道路、公園、駐車場、駐輪場について、専門家を招き、地元住民、市町村、警察等関係機関との合同防犯現地診断を実施する。					
当初予算額(千円)	24年度	97	25年度	444	26年度	
決算額(千円)	24年度	86	25年度		26年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○			

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

5市で、合同防犯現地診断を実施。

(2) 事業の成果

3市において、小学校のPTA活動と連携して、合同防犯現地診断を実施し、保護者向けに啓発できた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

実施する市町村が拡大していないこと。継続して実施していく予定である。

4 委員意見

千葉県青少年総合プラン平成24年度事業 評価シート

計画番号 91

事業名	ちばっ子安全・安心推進事業		
担当課・室・班名	学校安全保健課 安全室	問合せ先(電話番号)	4091

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域社会づくり				
基本目標	6 社会環境の見直しと整備				
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応				
事業内容	地域で子どもを見守る活動支援集会の開催。県警や防犯団体と連携し、地域安全マップをはじめとする最新の防犯知識と技術を伝達する。				
当初予算額(千円)	24年度	206	25年度	136	26年度
決算額(千円)	24年度	8	25年度		26年度
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

「平成24年度地域で子どもを見守る活動支援集会」を北総教育事務所、東上総教育事務所、南房総教育事務所の3教育事務所管内で実施した。各集会では、学校関係者、防犯関係団体の方々、スクールガード等が参加し、3会場で合計で335名が参加した。

(2) 事業の成果

学校関係者や防犯関係団体の方々、スクールガード等を対象に「ちばっ子安全マップの実践」をはじめとする防犯知識や技術の伝達、地元警察署の方による地域防犯の状況説明及びスクールガードリーダーの取組の報告等を行い、参加者の防犯活動に対する意欲の向上を図るとともに防犯知識や技術の伝達ができた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

平成24年度は3つの教育事務所で開催し、25年度に残りの2つの教育事務所で開催し、2年間で全県実施となっている。どの地域においても、子ども達が事件に巻き込まれている現状を鑑み、年度で5教育事務所の全てで開催する方向で検討したい。

県教育委員会としては、本研修会を通して、児童の危険予測能力、危険回避能力をたかめる「ちばっ子地域安全マップ」の実践校を増加させることを大きなねらいとしているので、現在の内容に加えて、安全マップ作成の有効性やマニュアルに基づく手順の説明を加えていかなければならないと考えている。

4 委員意見

# 千葉県青少年総合プラン平成24年度事業 評価シート

計画番号 92

事業名	青少年の社会環境づくり事業		
担当課・室・班名	県民生活課 子ども・若者育成支援室	問合せ先(電話番号)	2330

## 1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域社会づくり				
基本目標	6 社会環境の見直しと整備				
基本方針	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応				
事業内容	青少年健全育成条例等に基づき、青少年の健全育成を図るため、立入調査の実施や啓発用物資の作成及び配布により、青少年に有害な環境の浄化に努める。				
当初予算額(千円)		1,474	25年度	841	26年度
決算額(千円)	24年度	871	25年度		26年度
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)
	○				

## 2 事業実績・評価等

### (1) 事業の実施結果

・青少年の健全育成を図るため、携帯電話等販売店125件、書店55件、インターネットカフェ21件、カラオケボックス4件等の立入調査を行い、携帯電話事業者等の説明責任等の確認・指導、深夜の立入規制や有害図書等の区分陳列等の確認・指導等を行った。  
 ・条例改正内容の周知のため、条例のしおり15,000部、啓発用リーフレット50,000部を作成し、関係機関へ配布を行った。

### (2) 事業の成果

携帯電話等販売店・書店・インターネットカフェ等212店舗につき立入調査により、携帯電話事業者等の説明責任等について及び、深夜の立入規制や有害図書等の区分陳列等についての実態調査を行い、個々の店舗に対する千葉県青少年健全育成条例の規制事項の認識を高め、啓発用物資の活用による啓発と周知を図った。

## 3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

千葉県青少年健全育成条例にインターネットの適切な利用のための環境整備に関する規定が新たに追加されたことから、インターネット上に氾濫する有害情報から青少年を守るための啓発をさらに進めるとともに、携帯電話等販売店への確認・指導のより一層の充実を図る必要がある。

## 4 委員意見

千葉県青少年総合プラン平成24年度事業 評価シート

計画番号 93

事業名	青少年ネット被害防止対策事業		
担当課・室・班名	県民生活課 子ども・若者育成支援室	問合せ先(電話番号)	2330

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	青少年の利用頻度の高いサイトを監視するとともに、関係機関と連携し、いじめ、非行行為、犯罪被害等の防止を図る。					
当初予算額(千円)	24年度	4,712	25年度	4,588	26年度	
決算額(千円)	24年度	3,856	25年度		26年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○					

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

青少年の書き込み頻度の高いプロフィールサイト、ブログ、ネット掲示板等の監視(ネットパトロール)を実施した。

(2) 事業の成果

青少年の書き込み頻度の高いプロフィールサイト、ブログ、ネット掲示板等の監視(ネットパトロール)を実施し、結果と情報を教育委員会に通知し、問題のある書き込みについて削除を求める等、インターネットの安心利用について啓発を図った。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

引き続き、青少年ネット被害防止対策(ネットパトロール)事業に取り組みながら、青少年や保護者、学校、教育関係者等への講演・啓発活動を行っていく。

4 委員意見

千葉県青少年総合プラン平成24年度事業 評価シート

計画番号 94

事業名	暴走族総合対策の推進		
担当課・室・班名	県警本部 交通捜査課	問合せ先(電話番号)	201-0110(内5464)

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	暴走族等の取締り強化により、構成員の検挙、グループの解体により、少年を暴走族等への加入防止の措置を図る。また、既存の暴走族等に参加している少年への離脱支援活動を推進する。					
当初予算額(千円)	24年度	50	25年度	50	26年度	
決算額(千円)	24年度	42	25年度		26年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果

<p>①暴走族による集団暴走の取締り 毎週末、県内全域において、集団暴走事案に対する警戒取締りを実施し、道路交通法(共同危険行為等の禁止違反)等を適用した捜査を推進した結果、県内外の暴走族グループによる大規模集団暴走事件を解決した。(H23年2事件、検挙96人(逮捕63人):H24年3事件、検挙49人(逮捕32人))</p> <p>②広報啓発活動の推進 暴走族取締り強化月間における指導取締りを強化するとともに、暴走族防止排除ポスターを活用して、広報啓発活動を実施した。</p> <p>③暴走族相談員による離脱及び加入防止相談の実施。 暴走族に参加している少年及び保護者から、離脱及び加入に関する相談の他、道路交通法(共同危険行為等の禁止違反)で、検挙した少年の保護に対し、青少年の健全育成を目的とした再発防止・離脱相談に対応した。</p>
---

(2)事業の成果

<p>①印西地域を根城とする暴走族グループが、友好グループとの合同による大規模集団暴走に対し、道路交通法(共同危険行為等の禁止違反)を適用し、暴走族グループを検挙解体した。</p> <p>②3件の事件化により、少年を暴走族グループから離脱させた。</p> <p>③暴走族グループ及び構成員は減少傾向にあるものの、県民に多大な危険と迷惑を及ぼす集団暴走に対する警戒、取締り強化により、県民の安全で安心できる交通環境づくりに成果があった。</p>
---

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

<p>①平成24年の集団暴走行為での検挙者は、すべて少年であったことから少年による犯罪として顕著である</p> <p>②暴走族による指導取締りを強化して、検挙解体することにより少年を暴走族グループから離脱させることにより、青少年の健全育成を図るとともに、再発防止・加入阻止を推進していく。</p>
--

4 委員意見

<p> </p>
----------